

各位

会社名 株式会社グローバルダイニング
 代表者名 代表取締役社長 長谷川 耕造
 (コード番号 7625 東証スタンダード)
 問合せ先 取締役 最高財務責任者 中尾 慎太郎
 TEL : 050-5443-1028

第2四半期(中間期)連結業績着地見通し及び 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2024年2月9日に公表した2024年12月期通期連結業績予想について、下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

なお、参考までに2024年12月期第2四半期(中間期)連結業績の着地見通しをあわせてお知らせいたします。

記

2024年12月期(連結)通期業績予想の修正(2024年1月1日~2024年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	11,650	553	549	535	51.57
今回修正予想(B)	12,009	825	814	611	58.85
増減額(B-A)	359	271	264	75	
増減率(%)	3.1	49.1	48.1	14.1	
(参考)前期実績 2023年12月期	11,090	732	727	847	81.68

(参考)2024年12月期第2四半期(中間期)(連結)業績の着地見通し

(2024年1月1日~2024年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
中間期 着地見通し	5,776	399	395	480	46.26
前年同期比増減額	389	133	132	188	
増減率(%)	7.2	50.4	50.3	64.5	
(参考)前年実績 2023年12月期2Q	5,387	265	263	292	28.17

※決算発表は7月31日を予定しております。

修正の理由

- ・第2四半期(中間期)業績について

国内においてインバウンド需要が堅調に推移したことや価格改定が浸透したことにより、既存店の客数・客単価が伸び、中間期の連結売上高は前年比7.2%の増収となる見通しです。特に権八業態(和食)は前年比15.8%増となり、増収に貢献いたしました。利益については、増収に加えて保守的に見積

もっていたエネルギーコストが想定を下回ったことから、営業利益・経常利益・中間純利益についても前頁に記載の通り増益となる見通しです。

・通期業績予想について

下期には、宿泊飲食複合施設の開業費用を計上するため営業利益率が若干減少するものの、上期の好調な業績、及び下期は売上高の季節指数が高くなる傾向であることを鑑み、前頁に記載のとおり通期業績予想を修正いたします。

なお、順調な業績に照らし、当期中に繰越欠損金の解消が見込まれることから、当期末の繰延税金資産が当初予想よりも減少する見通しです。そのため、親会社株主に帰属する当期純利益は、前回発表予想を上回る見通しであるものの、増減額及び増減率においてその影響を受ける見込みであります。

(注) 前頁に記載の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上